

夢のたねを楽校おもせ



令和8年 9 月 16日(水)第 11つば



「好き」を育み、「得意」を増やす おもせっ子をみんなで応援しましょう

4月に着任して、約半年が過ぎようとしています。その間、学校に限らず、様々な場面で面瀬の子供たちの活躍を目にしてきました。

サッカー、バレーボール、野球などのスポーツ活動に取り組んでいる子供、ジュニア・リーダー活動に取り組んでいる子供、夏休みにちびっこ大相撲に出場した子供、そろばんや書道(習字、ペン習字)に取り組んでいる子供、社会教育的な活動に積極的に参加している子供、市内での発表会に向けてダンスの練習に励む子供、先日13日(日)に面瀬公民館で行われた敬老会では、2人の児童が敬老作文を読み上げたほか、ピアノを習っている子供たちによる演奏もありました。また、英語検定(英検)に挑戦する子供は回を重ねるごとに増えています。まだまだ私が知らないところで様々な「好き」なことや「得意」なことに取り組んでいる子供たちがたくさんいます。

学校は、子供たちの興味・関心を喚起しながら、効率よく且つ網羅的に学習に取り組める場であり、可能性を開拓し、広げる機能を有しますが、やはり、本人の興味や関心が高く、「好き」であることや「得意」であることに取り組んでいくことが、将来的にその子供の持っている特性や資質を伸ばし、自己形成につながっていくと考えています。

学校内外で、それぞれの子供の持ち味が発揮され、「可能性の芽」が大きく育つよう、保護者の皆様、地域の皆様と一緒に応援していきたいと思います。

ㄥ(^・^)ｺﾌｰ＼(^0^)/ﾌｰおもせっこ～

